

今回は、国際交流協会の理事でもある名古屋芸術大学の 水内智英准教授にお話を伺いました。

——先生は海外生活していらしたんですね。

「ロンドン大学ゴールドスミス校の大学院に行っていました。修士課程を卒業した後しばらく、地元のデザイン会社にも務めていました。その時の経験は、私の人生の大きな糧になっていると思っています」

——どんな経験を？

「私が住んでいたのは、ロンドン郊外のサウスイーストロンドン。ここは、ロンドン市内まで電車で2駅くらいのところでした。言ってみれば名古屋と北名古屋のような距離ですね。そのまちは移民の多いまちで、黒人も多く、日本とは全く雰囲気が違いました。住み始めたときは正直ちょっと怖かったです。インターンをしていた事務所が、地域で行うプロジェクトをしていたので、私も仕事として地域に入って行って、どんどんその場所が好きになりました。人と話していくと、皆温かい。日本人の私を仲間として受け入れてくれるんです。face-to-faceで個人的な理解をする積み重ねが、地域の理解へと繋がっていきました。もちろん失敗もありましたし、苦い経験もしました。けれど、それが全て人生の財産になっていき、今がありますね」

——外国生活は必要ですか？

「ぜひ、海外に出てみたいと思います。名古屋芸術大学で国際交流センター長もしていて、姉妹校との交換留学や研究留学、相互訪問から短期留学、数年間の留学などのお手伝いをしています。若い時に海外に行って『外国人』になる経験をしてほしいですね。日本を一步出たら、私たち日本人も外国人ですから。視点が変わる。ひとつひとつが不思議の連続になると思うんです。『不思議』『すごい』と思うことが、デザインの源泉だと思っています。日本にいてもいろいろな意見がありますが、世界にはもっといろいろな意見がある、多

KIIA 北名古屋市 国際交流協会会報

発行者 北名古屋市国際交流協会
Kitanagoya City International Association (KIIA)
〒481-8531 北名古屋市役所(西庁舎4階)
TEL 0568-22-1111(内線)2400

vol. 34
2019. 7.

様性を肌で感じてほしいですね。創造することは世界共通です。芸大は、留学しても留学生を受け入れても、『創造』という共通項でつながっていきけるのが良いところ。SNSが普及して、情報のフィルターバブルが起こっていると言われる時代です。だからこそ、直接見たり聞いたり体験したりして、自分で確かめてほしいんです。たくさんコミュニケーションをとること。それこそがクリエイティブなんです。私の好きな『ダイアログ』というデヴィット・ボーム氏が書いた本がありますが、コミュニケーションというのは

すれ違っている意見から第3の意見を作り出すこと。すれ違いを超えて、答えだったり新しい意見だったりを生み出すことがコミュニケーション。コミュニケーションはクリエイティブなんです。対話が大切というのは、いつの時代もどの世界でも変わらないことですね」



名古屋芸術大学准教授
水内 智英さん

「多様性を肌で感じてほしいですね」

平成31年度(令和元年度)事業

平成31年度(令和元年度)の重点事業

協会は多くの人と交流し世界に繋ぐ夢と希望を掲げるため、国際交流の「場づくり」、国際交流の担い手となる「人づくり」、国際交流を活用した「地域づくり」、「広報戦略拠点づくり」など、「市民が主役となる草の根交流を推進し、北名古屋の国際交流拠点にふさわしい協会をめざす」。

特に、「市民が主役となる広報」をめざして、協会を広報戦略拠点として整備し、10年プランである「北名古屋広報戦略プラン(外国人向け)」を基本に、「地域のこし」「地域づくり」「地域みかき」「地域じまん」を内外に発信していく。

平成31年度(令和元年度)事業計画

◆国際交流の場づくり

《第8回アジア太平洋フェスティバル》アジア太平洋諸国との交流の場、食と文化の交流を通じて、国際理解を深めるため、市民手づくりのアイデア溢れる国際交流イベントを開催する。

《国際フェア》国際交流の場として、「ふれあいフェスタ2019」、「第8回とらいあんぐるフェスタ」などイベントに出展。

《国際交流子ども芸術教室》名古屋芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講。

◆国際交流の担い手となる人づくり

《草の根交流プログラム(派遣)》北名古屋市と台湾台北市大同区、台南市との交流事業として、市民代表団を派遣し、交流を深める。①派遣：約16名 ②交流体験市民報告会

《草の根交流プログラム(受け入れ)》韓国務安郡、米国グアムなど海外の自治体や国際交流団体等を受け入れ、交流を深める。

《社会人日本語教室》外国籍市民が、基礎的な日本語や日本社会での適応能力を修得する教室。毎週、金曜日夜、市コミュニティセンター。

《子ども日本語教室》市内公立小中学校に通う外国籍市民の子女対象。出張教室方式で毎週1回開講。

《外国語講座》韓国語2コース、中国語1コース、英会話3コースの3か国語を開講。(健康ドーム)

《外国語学習事業補助》市内で外国語学習するグループ等を対象に、その講師料の一部を補助する。

《通訳ボランティア派遣事業》学校、団体や企業などの要望により通訳ボランティアを派遣するとともに、翻訳サポート等を実施する。

◆国際交流を活用した地域づくり

《北名古屋地域ブランドプロジェクト》「北名古屋ブランド」をイメージキャラクター「いっちゃん」を活用して、啓発キャンペーンを実施。

《SDGs(持続可能な開発目標)プロジェクト》地域のSDGsへの取り組みを啓発・普及し、SDGs活動を地域づくりにつなげていく。

《多文化共生社会づくりプロジェクト》外国籍市民とその家族を対象とした交流ネットワークづくりにつなぐ「外国籍市民とともに：北名古屋を語るうい」交流自治体：長野県大桑村を知ることを実施。

《国際理解プロジェクト》一般市民を対象に、国際理解を深めるため、講演会や映画鑑賞会などを実施する。

《草の根交流海外派遣事業補助》草の根交流を促進し、地域の国際化につなぐため、アジア太平洋諸国等へ、北名古屋市民がグループ等で行う草の根交流海外派遣について、その経費の一部を予算の範囲内で補助する。

《国際交流事業補助金》市内の団体等が実施する国際交流事業について、その経費の一部を予算の範囲内で補助する。

◆国際交流を活用した広報戦略拠点づくり

《広報戦略事業(北名古屋方式)の拠点づくり》北名古屋広報戦略プラン(外国人向け)を実現していくために、「市民が主役となる広報」の拠点づくりのプラットフォームを協会に整備する。市民参加による委員会を立ち上げるとともに、外国人や外国籍市民による広報市民ネットワークを構築。

《北名古屋広報戦略プロジェクト(北名古屋方式)》広報基礎資料「ファクトブック」(北名古屋方式)を整備し、「地域のこし」地域づくり、地域みかき、地域じまん」を発信する。

《外国語支援プログラム》外国人や外国籍市民が来訪する市役所でのコミュニケーションを円滑に進めるため、案内窓口などに74か国語通訳翻訳機能機器ポケットブックを配置し、外国語支援する。

《外国人生活情報サービス》地域で暮らす外国人や外国籍市民が文化・習慣・言語などの違いから抱えている問題をともに考え、問題解決に導くために支援する。《会報発行》7月、11月、4月に「北名古屋市民タイムズ」を通じて、全世帯に届ける。

《フェイスブック》フェイスブック(facebook)を積極的に活用する。

《ホームページの更新》協会の活動や催事の紹介、各種講座の案内、会員登録など、ホームページを更新する。外国語版は、協会登録ボランティアが作成する。

平成31年度(令和元年度)収支予算書 単位:円

収入の部	
負担金(会費等)	610,000
補助金・助成金	12,700,000
諸収入	2,153,000
繰入金	143,000
繰越金	1,432,000
計	17,038,000
支出の部	
事務費	7,507,000
(報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	
事業費	9,491,000
(報償費・旅費・需用費・役員費・委託料・負担金補助金等)	
予備費	40,000
計	17,038,000

詳しくは協会までお問い合わせください

北名古屋市国際交流協会会報

平成30年度事業報告

◆国際交流の場づくり

《第7回アジア太平洋フェスティバル》 「アジアを観て、知り、食す」をテーマに、インドにスポットをあて、ジャガ・ラボによる音楽や舞踊などインド芸術を紹介した。

《国際フェア》 国際交流の場として、「ふれあいフェスタ2018」、「第7回とらいあんぐるフェスタ」などイベントに出演。

《国際交流子ども芸術教室》 名古屋芸大の留学生と子どもたちの交流の場として、芸術教室を開講。

産！いちじく酵母入り・のむ酢や「いちじくジャム入り・いちじくパン」などで啓発キャンペーンを実施。

《多文化共生社会づくりプログラム》 「外国人のための産業スタディツアー」を開講。

《国際理解プログラム》 「国際理解シリーズ」として、中日新聞元論説委員小塚哲司氏を迎えて「出口の見えない口ヒンギヤ問題 問われるスー・チー国家顧問」をテーマに講演会を開催。

《北名古屋広報戦略プラン(外国人向け)》 「北名古屋の素顔」を広く、外国人や外国籍市民に周知し、相互理解を深める様々な広報を戦略的に推進するため、その基本となる10年プランを策定。

《外国人生活相談》 地域で暮らす外国籍市民が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設した。

《会報発行》 7月、11月、4月に「北名古屋市市民タイムズ」を通じて、全世帯配布した。

《フェイスブック》 「ホームページの更新」



◆国際交流の担い手となる人づくり

《草の根交流プログラム》 韓国務安郡友好訪問団(团长キム・サン郡守)、台湾台北市在住陳世傑氏(北名古屋市国際交流大使)を受け入れ。

《社会人日本語教室》

《子ども日本語教室》

《外国語講座》 韓国語2コース、中国語1コース、英語2コースを開講。

《ボランティア研修プログラム》

《ボランティア登録者数》 通訳翻訳イベント、日本語教室、生活相談、運営企画会議など登録者数178名。

◆国際交流を活用した地域づくり

《北名古屋地域ブランドプロジェクト》 「北名古屋特

平成30年度北名古屋市草の根交流海外派遣事業(特定財源)

草の根の国際交流を推進し、地域の国際化につなぐため、市民グループのアジア太平洋諸国等への派遣に助成した。市民主導を徹底し、「市民が主役となる草の根交流」のモデル事業をめざし、応募者の自由度の高い補助金とした。

新たな交流先を求めて、今後交流が見込まれる台湾に、市と合同でスタディツアーを実施した。

北名古屋市は、韓国務安郡、グアム、台湾と3つの海外での「市民が主役となる草の根交流」の相手を持つことができた。この事業は、29年度、30年度の2年間、北名古屋市に寄せられた篤志家からの寄付金を財源として実施した。

《草の根交流海外派遣事業補助金》 ⑦月(タイ)スラムの幼稚園を守る会 ⑩月(韓国)ヨジャフェ ⑩月(韓国)ハンクル同好会 ⑩月(グアム)グアムリ

平成30年度草の根交流海外派遣事業収支決算書 単位:円

収入の部	
補助金(市)	1,500,000
諸収入	10
繰越金	749,027
計	2,249,037
支出の部	
事業費	2,105,649
旅費・需要費・役務費・委託料等	1,448,208
補助金	657,441
計	2,105,649

詳しくは協会までお問い合わせください

平成30年度決算報告 単位:円

収入の部	
負担金(会費等)	550,000
補助金・助成金	11,200,000
諸収入	1,684,830
繰越金	1,217,510
計	14,652,340
支出の部	
事務費	7,230,090
(報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	
事業費	5,989,271
(報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金補助金等)	
予備費	0
計	13,219,361

詳しくは協会までお問い合わせください

ビグループ ⑩市民報告会8月・11月・2月

《台湾スタディツアー》 派遣時期:10月29日〜11月1日3泊4日 ⑩派遣団:市長、議長、会長始め7名

◎訪問先:台北市大同区、台南市 ◎国際交流大使:陳世傑氏(2月19日委嘱)

国際理解講座

『アール・グラーダと健康』と題し、お話いただきます。毎日の食べ物や怒り方、睡眠などなど、自分の体質を知ること、毎日の生活習慣にどう影響があるのかを見直していきましょう。

講師 バッド・富士美氏

日時 8月24日(土) 午後1時〜3時

場所 北名古屋市コミュニティセンター3階ホール

定員 50名(先着順)

参加費 無料

国際交流子ども芸術教室 in名古屋芸術大学東キャンパス

名古屋芸術大学芸術学部音楽領域のお兄さん、お姉さんと音楽を楽しむ会です。みんながよく知っている曲の演奏や、世界の珍しい楽器を鳴らしてみる体験の時間もあります♪

日時 10月26日(土) 午前10時〜正午

場所 名古屋芸術大学東キャンパス2号館1階

対象 小学生

定員 25名

持ち物 水筒

参加費 無料

外国人のためのスタディツアー 長野県大桑村を知ろう!

北名古屋市と友好提携協定を結んでいる長野県大桑村を訪ね、雄大な自然を肌で感じ、大桑村産のそば粉を使ってソバ打ち体験をします。

日時 9月29日(日) 午前8時〜午後5時

場所 長野県木曾郡大桑村

集合 北名古屋市役所西庁舎南側駐車場

対象 外国籍市民及びその家族

定員 20名(先着順)

参加費 無料

北名古屋市草の根交流台湾派遣事業 令和元年度

今後交流が見込まれる台湾に市民代表団を派遣します。アイデア出しから、企画・運営・実施まで市民主導を徹底し、「市民が主役」となる国際交流モデル事業を目指します。

日時 10月13日(日)〜16日(水) 3泊4日

派遣先 台湾台北市・台南市

内容 台湾台北市等での草の根交流、施設見学等 定員 約16名

応募資格 台湾台北市在住または協会会員で18歳以上

参加費 45,000円(パスポート取得費、その他個人費用は除く)

応募締切 7月31日(水) ※面談等選考があります。

★応募方法や応募書類など詳しくは協会まで。

私たちの国際交流

私と国際交流協会の出会いは、韓国語講座の受講でした。当時、韓流ブームの影響でとても人気の講座でした。ハンガルの学習とともに、韓国の歴史、文化、習慣も学ぶことができました。その後、協会活動に興味を持つようになり、運営企画会議ボランティアのメンバーとして、協会の運営にも参加することになりました。

昨年は、協会の補助を受けて、韓国釜山市務安郡への「草の根交流派遣」に参加しました。釜山市では、「辛恩珠舞踊団」を訪ねて、劇団の皆さんの舞台練習を見学し、辛恩珠先生と夕食を囲み交流を深めました。また、北名古屋市の友好提携都市である務安郡では、北名古屋市での日本語教室でこ

交流の輪を 徳重 大川 晶子

指導いただいた先生方と韓国での日本語教育の現状や今後の交流などについて意見交換できました。ソウルでは「キムチ祭り」を見学し、韓国人の食文化に触れることができました。今回の韓国訪問は、「市民グループ」として実施できました。日程調整、交流先への連絡、交通機関、宿泊等の予約もグループのメンバーの責任と分担で行いました。列車の乗り継ぎがギリギリで重いスーツケースを引きずりながら走ったり、ホテルの予約が無かったりとハプニング続きでしたが、その都度、心優しい韓国人に助けられ無事乗り切ることができました。

政治的には、日本と韓国には、まだまだ問題が多いですが、草の根交流によって少しでも溝が埋まることを願っています。今後も協会の事業を通して、多くの国の人達と市民レベルの草の根交流の輪を拡げていきたいと思います。

各種 申し込み お問い合わせ 等は、下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地 北名古屋市役所西庁舎4階

北名古屋市国際交流協会 TEL 0568(22)1111 内線2400 FAX 0568(25)1800

Eメール info@kitanagoya-kiia.jp ホームページ http://www.kitanagoya-kiia.jp フェイスブック https://www.facebook.com/kitanagoyakiia